



SANJO ROTARY CLUB

三條ロータリークラブ

2018.3.7(No.2950)
週報 No. 32

クラブと地区の変革をめざそう

第2560地区ガバナー／新保 清久
会 長／小出子恵出
会長エレクト／松 永 一 義 (クラブ奉仕A)
会長ノミニー／若槻八十彦 (クラブ奉仕B)
副 会 長／五十嵐晋三
幹 事／吉井直樹
S A A／歸山 肇
会 計／関川 博

例会日／毎週水曜日 12:30～

例会場／三條市旭町2-5-10
三條信用金庫本店
TEL 34-3311

事務局／三條市元町2-16
越前屋ホテル 3F
TEL 47-0505 FAX 46-8873

E-mail: sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/
(~はshiftを押しながら“へ”のキーを
押してください)

■本日の出席会員数:60名中44名
■先々週出席率:89.29%

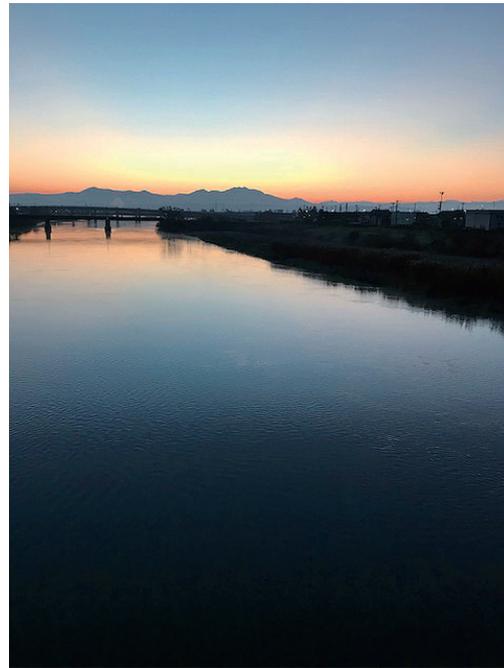
【先週のメイクアップ】

- [3.3] ローターアクト地区大会(燕)へ
・衛藤泰男さん、 中村信一さん、
・吉井直樹さん
- [3.3] 米山奨学生終了式・歓送会(新潟)へ
・明田川賢一さん



ロータリー:
変化をもたらす

2017～2018年度国際ロータリーのテーマ



会長挨拶 「ナツボウズ」

小出子恵出 会長



みなさんこんにちは。

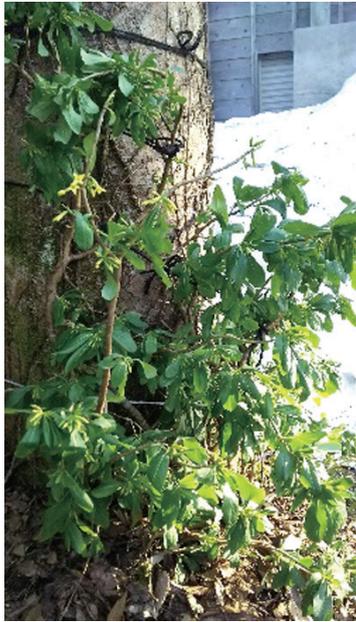
昨日6日は、冬ごもりをしていた虫たちが動き始める啓蟄でした。

4日の日曜日に珍しいものを見ました。气象台発表で新潟では昼過ぎに気温が20℃まで上がりました。下田の農協で打ちたてのそばを食べさせる「お日待ちそば」の催し会があり、帰って来ました。家の軒下に動くものがあります。ルリタテハです。翅が傷んでいます。日の当たる場所に早く移動したらよいのに、と思っていましたがなかなか移動しません。成虫で越冬すると聞いていましたが、この時期



に見るのは初めてです。雪をバックに写真に収めました。

話は飛びます。下田の木、ナツボウズのことを話します。家の櫛の根元にある「夏坊主」がこの前の高温で咲き始めました。うちの庭では梅よりも早く、一番に花が咲きます。雪はまだ1m以上あります。黄色い花で4つの花弁があり、花の色は違いますが、沈丁花の仲間なので少し香りがします。



新潟ではナツボウズと言いますが、オニシバリが一般名のように、樹皮が強靱で鬼も縛ることができるという意味です。

ナツボウズは今頃黄色の小さな花を咲かせ、夏には赤い美味しそうな実がなります。実が赤くなるころに落葉し、坊主になります。夏に丸坊主になることからこの名になりました。9月下旬に芽を出して10月には葉が

青々としみます。木の高さは大きくなっても1.5m程度で、葉の形は細長く、花も5mmと小さくジンチョウゲと同じです。

実は小豆のふっくらとした大きさになり、赤く熟します。見た目には美味しそうで口にしてみると、かすかに甘味があります。熟す前の青い実は、非常に辛く有毒とされています。山羊などの家畜を飼っていた頃は、家の近くのナツボウズはみな退治され見かけませんでした。

普通の広葉樹木は光合成をして養分を蓄えるため我先にと背伸びをしますが、これらの樹木が落葉した後で葉を伸ばすナツボウズ。大きくなれない木の、生存の知恵で棲み分けをしています。

「逆転の発想」という言葉はよく聞ききますが「夏坊主」に教えて貰えました。

幹事報告

吉井直樹 幹事

◎川瀬ガバナーエレクト事務所より

「2018-19年度地区役員委嘱状交付について」

◎新保ガバナー事務所より

「2018 JAPAN RYLAセミナー

(青少年指導者養成セミナー)のご案内」

日 程 5月24日(木)～27日(日)

場 所 神戸YMCA余島野外活動センター

◎新保ガバナー事務所より

「ロータリー山の会のご案内」

日 程 6月2日(土)～3日(日)

場 所 佐渡 ドンデン山

締 切 4月末日

◎新保ガバナー事務所より

「台湾東部地震についての地区からの義援金支払について」

2月の台湾東部地震に対し、地区の特別会計(C：災害特別会計)より100万円を義援金として拠出、今回は、各クラブに別途義援金の募集は行いません。

《2018-19年度 地区役員委嘱状》

奉仕プロジェクト委員会 委員長 菊池 渉 会員

職業奉仕委員会 委員長 五十嵐 昭一 会員

国際奉仕委員会 委員長 小越 憲泰 会員

ロータリー財団委員会

寄付・資金・ポリオプラス委員会 副委員長

野崎 喜一郎 会員

奨学金・VTT委員会 副委員長 吉井 直樹 会員

社会奉仕委員会 委員

伊藤 寛一 会員



関川会員が静岡県の米山梅吉記念館でバナー交換をされました。

ニコニコBOX

小出子恵出会長

春が少しずつ近づいて来ていることが嬉しいこの頃です。

3月下旬は行事が集中しています。ご協力いただけますように。

小林卓哉さん

よろしくお願いたします。

小林敬典さん

大分、休会しました。

それにしても、今日は又、素晴らしい天気ですね。

菊池 渉さん

浄円寺から見ると未だ冬の中ですが、シャバはすっかり春らしくなって来ました。崑しい限りです。

関川 博さん

三島のお客様に誘われ、カワズ桜を見て来ました。帰り道湯沢は雪。米山梅吉記念館に寄って来ました。

小林会員卓話楽しみです。

伊藤寛一さん

冬から春への変化がはげしいですネ。

小林会員宜しくをお願いします。

渡辺勝利さん

小林会員卓話ありがとうございます。春の日差し歓迎!!

樺山 仁さん

いよいよ春めいて来ましたね。

本日の小林さんの卓話に期待しております。

若槻八十彦さん

今日は良い天気になりました。

小林卓哉さん、卓話楽しみです。

中條克俊さん

本日は良いお天気で!!

小林会員の卓話楽しみにしています。

熊倉昌平さん

小林卓哉会員の卓話ありがとうございます。益々のご活躍をお祈り申し上げます。

小林吾郎さん

たくちゃん、がんばって!

川瀬康裕さん、 斎藤弘文さん、 杉山幸英さん、

五十嵐晋三さん、 斎藤真澄さん、 小越憲泰さん、

松永一義さん、 丸山行彦さん、 高橋 司さん、

木村文夫さん、 明田川賢一さん、 米山智哉さん、

歸山 肇さん、 五十嵐博宣さん、 中村信一さん、

船越良則さん、 梨本次郎さん、 牧 利幸さん、

石橋育於さん、 石黒良行さん

小林卓哉会員、本日は卓話ありがとうございます。お話し楽しみにしています。

3月7日分 ¥ 33,000
今年度累計 ¥ 1,020,000

「卓 話」



小林卓哉 会員

みなさん、こんにちは。会員
の小林卓哉です。

今日は、急遽、小林敏信会員の代わりに卓話をさせていただきましたこととなりましたが、人前で30分も話をするのが初めてですし、私の伯父にあたる、三条ロータリーに在籍していた小林英雄や、父の小林庄作、父の一歳違いの弟にあたる小林庄治のことを知っている方々の前で話をするということで、いささか緊張しております。何を話したらいいかと思いましたが、簡単な自己紹介の後で、趣味のカヌーの話を行います。25年くらい前の学生時代の話です。

私は昭和46年生まれの46歳です。小学校のころは剣道をしていました。剣道を始めたのは、小児喘息で体が弱かったために、健康になるためでした。おかげで、小学校を卒業する頃には、学校を休むことはほとんどなくなりました。

高校で山岳部に入り、ここで心身ともに鍛えられました。三条市の高校は皆山岳部が強く、三条は昔から登山がさかんな地域です。自分は、慣れないキャンプの仕方を学んだり、歩荷訓練を行って、3年の時にインターハイに行くことができました。このことは今でも誇らしい思い出として残っています。今でも当時の仲間とは定期的に会っていますし、当時、仲間と頑張って山を登ったことが今の自分の励みとなっております。

大学時代に、カヌーを始めました。カヌーを始めたきっかけは、高校3年の8月に、山岳部の部室にあった、「山と溪谷」という雑誌を読んだことです。8月号だったと思いますが、カヌーイストの野田知佑さんが、友人で脚本家の倉本聡さんと、北海道の釧路川を折り畳み式のファルトボートカヌーでキャンプをしながら何日かかけて下る、という内容の写真と記事がありました。小学校の頃から地図が好きで、日本地図を見ながら、いつか川下りがしたい、と漠然と思っていたのですが、これを読んで、高校で身につけたキャンプの技術とカヌーを組み合わせれば野田さんのように川旅ができると思いました。

自分の初川旅は、長野県の千曲川で、大学2年になったばかりのゴールデンウィークでした。

大学の先輩と二人で長野市内の犀川より入り、漕ぎ始めて100メートルくらいですぐにひっくり返りました。GWの長野の川ですから完全に雪解け水で寒さで震えました。その時、食料が入った防水バックを流されたことに気づき、追っかけて行ってなんとか回収できました。先輩の待つ、元の場所に戻り、その夜は疲労困憊して爆睡しました。2日目以降は、初めて見る川からの景色に感動しながら、川を下ることができました。当時、まだカヌーは珍しかったので、飯山市のあたりでは、河原や橋の上から、いろんな人に声をかけられました。

練習の成果もあって、先輩とともに、一回もひっくり返らずに川旅を終えることができました。飯山線に乗って眼下にある千曲川を見ながらたった1時間で長野駅まで戻りました。電車で1時間のところを、4日もかけて密度の濃い生活を送ったことがとても感慨深かったです。

同じ大学2年の夏休みに、単独で、折り畳み式カヌーを使って、北海道の6つの川を下りました。

平成4年の夏、34日間をテント生活しました。青春18きっぷで、まる2日以上かけて道北の天塩川に行き、途中台風が来て川が増水したため途中で撤退しましたが、その後、十勝川、釧路川、常呂川、サロマ湖、そして、再び天塩川をリベンジして河口まで行き、石狩川と支流の千歳川を下りました。

北海道の川は本州と比べて、とてもスケールが大きいです。隣町まで30キロくらいあり、その間、たまに牧場の牛と遭遇するくらいであまり人と会うことがありませんでした。たしか、天塩川で名寄の町に上陸した時です。町の人から、2日前に私と同じような年の女子学生が一人で川を下っていった、と聞き、追いつけるかもしれない、と思い、数日間、一生懸命漕ぎました。結局河口のゴール地点まで漕ぎましたが会うことができず、バス停の近くで地元の人に聞いたところ、2、3時間前にバスに乗ってどこかに行ってしまった、とのことで、残念でしたが、同時に可笑しみもこみあげてきました。

その後、旭川から石狩川を下り、石狩川の支流の千歳川を下りました。千歳川は、川の水で飯が炊けるほどのきれいさでした。たまたまお会いした地元のカヌースクール校長さんが、ボロボロの姿だった自分を家に招き入れてくれ、風呂にも入れてもらいました。この後、東京のアパートに戻りました。

高校の山岳部といい、大学のカヌーといい、好きなことをさせてもらえたので、将来は父の会社に入って頑張ろう、と決めました。

卓話は以上となります。ご清聴ありがとうございました。

次週例会 3月21日 休会(春分の日)

次々週例会 3月28日 28日(水) → 24日(土)
「PETS」出席振替

